

歴史の重み

2012.12.18

先日 技能実習生対象に入管法 労働法等の授業をした
(外国から来た技能実習生は最初に必ず日本の法律 とりわけ
労働基準法等の労働法を学習することになっている)

今回の授業 受講生は1人(多いときは70名くらいのときも)
ゆとりをもって授業できる
丁寧に見てあげられるので理解もいいようだ

浙江省(上海の南西)から来た女性がその人
2歳になる子どもが一人 中国に
その子が詩を二つ暗唱するという
その一つを教えてもらった

憫農

李紳

鋤禾日當午
汗滴禾下土
誰知盤中餐
粒粒皆辛苦

【私訊】

稲の育つ土を鋤いている ふと気づくと日は高く昇り真上に来ている

汗は滴り 止まることのない 稲の根本の土に

誰が知るだろうか 食卓に並んだこの食事の

一粒一粒は 皆苦勞の果てに得られることを

千数百年 歌い継がれているのだろう

親から子へ

子から孫へ

そして これからも

大切なことだ

浙江省にはとても美しい湖があるという

千島湖

その名の通り多くの島々がある

貴重な話でした

感謝

